

# クラスワイド(学年単位)の ポジティブな行動支援 実践研究報告

**小学校高学年の学年全員に  
集中して、そうじに取り組む  
行動を教える。**

# 学年の実態

- 最高学年としての意識が芽生えつつあるが、具体的な行動には結びついていない。
- 控えめで穏やかな児童の割合が高い。
- そうじなど、人の役に立つことを尊重する学年の雰囲気強い。
- 学年の児童同士は結束力が強い(他の学年に比べて)。

## 学年団の教員の考え

「最高学年として、学年の児童たちが持っている“良さ”を発揮しつつ、ほかの学年の手本になってほしい」

「行動目標設定表の中にあるそうじの場面の目標に児童たちと取り組んでみたい」



## 学校長・校内リーダーからの助言

- そうじをする行動は、毎日繰り返し行うことであり、教員が身近で観察するので、児童にフィードバックしやすいですね。
- 児童にとって、きれいな教室で学習することは、①情緒安定、②健康保持の視点で意味が大きいですね。
- 児童の主体的な取組が期待できますね。



## 【指導目標】

「集中して、そうじをする」  
ことができる

- 取組の中で、児童の行動を褒めたり認めたりすることで教員と児童の信頼関係を太くするためにもいい目標ですね。

# 指導前：ベースラインを記録する

- 5日間、各学級担任がそうじの時間に担当場所を巡回して、児童の取組の様子を4段階で評価し、児童名簿に記録した。

## 記録方法

- ◆必要な会話以外集中している
- ◆時間いっぱい取り組んでいる
- ◆正しい道具の使い方ができる

3つの視点



- |                                  |    |
|----------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> 十分な水準   | 3点 |
| <input type="checkbox"/> 概ね満足    | 2点 |
| <input type="checkbox"/> まだまだ    | 1点 |
| <input type="checkbox"/> 改善の余地あり | 0点 |

# 指導計画

「具体的目標の実施計画表」を学年団と校内リーダーで検討，作成した。

ポイント！ 児童の強みを活かす

結束力の強さと集中力の高さを活かす



そうじの始めと終わりに同じ場所を分担するメンバーであいさつをする



予めそうじのやり方や分担を決めておき，そうじの時間はそうじに集中できる環境を児童が自分たちで整えた

# 具体的目標の実施計画表

行動指導計画表	
ステップ1: 敬える行動を決める	
始りのあいさつ → 無言清掃 → 終わりのあいさつ	
ステップ2: (覚悟に伝える) この行動を学ぶ理由) を考える	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間: メリハリをつけた行動がとれるようになるから。</li> <li>・グループの団結力を高められるから。</li> <li>・1つのことに集中して取り組むことができ、成果もとがるから。</li> </ul> <p style="text-align: right;">6/16(金) 4h.</p>	
ステップ3: 行動の具体例	
良い例	悪い例
① 時間通りにあいさつができる。	① あいさつをしてから、分担を決める。時間の無駄使い。
② 必要のないことは話さない。	② 不必要なおしゃべりをする。遅れている。
ステップ4: 実際に練習するための具体的な計画を立てる	
① 始りのあいさつ「これから、〇〇(場所)のそうじを始めます。礼。がんばるぞー！」	
② 無言で清掃する。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>正しいそうじの仕方</u>を学ぶ。</li> <li>(2) <u>正しい道具の使い方</u>を学ぶ。</li> <li>(3) <u>そうじの手順</u>を知る。</li> </ul> <p style="text-align: center;">) 全ての場所 確認</p>	
③ 終わりのあいさつ「これで、〇〇(場所)のそうじを終わります。礼。ありがとうございます。」	
ステップ5: 期待される行動の手がかりを作成する	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうじの手順の掲示(各場所)に (チェック表) 帰りの会。</li> <li>・月に1回「おそうじ見直しデー」を設ける。</li> <li>・手本となる姿(写真・動画)を見せて共有する。</li> </ul>	



# 具体的目標の実施計画表

## ステップ1: 児童の行動内容を記録する方法を計画する

いつ: そろじの時間, 帰りの会  
頻度: 毎日, 月に1回  
方法: 見回りと記録・観察  
写真や動画  
自己評価

## ステップ5: 望ましい行動に対する「ほめ方」を計画しましょう

- ・ 特別な存在の先生(担任以外)に、通りかかった時に賞賛していただく。
- ・ 下の学年からの良い評価(日記・声かけ)などを知らせる。(良い評判)
- ・ 朝会など全校児童の前で、賞賛していただく。
- ・ 「いいねシール」を教師がカレンダーに見立て、目に見える形で賞賛する。

# 学年ワイドでの指導

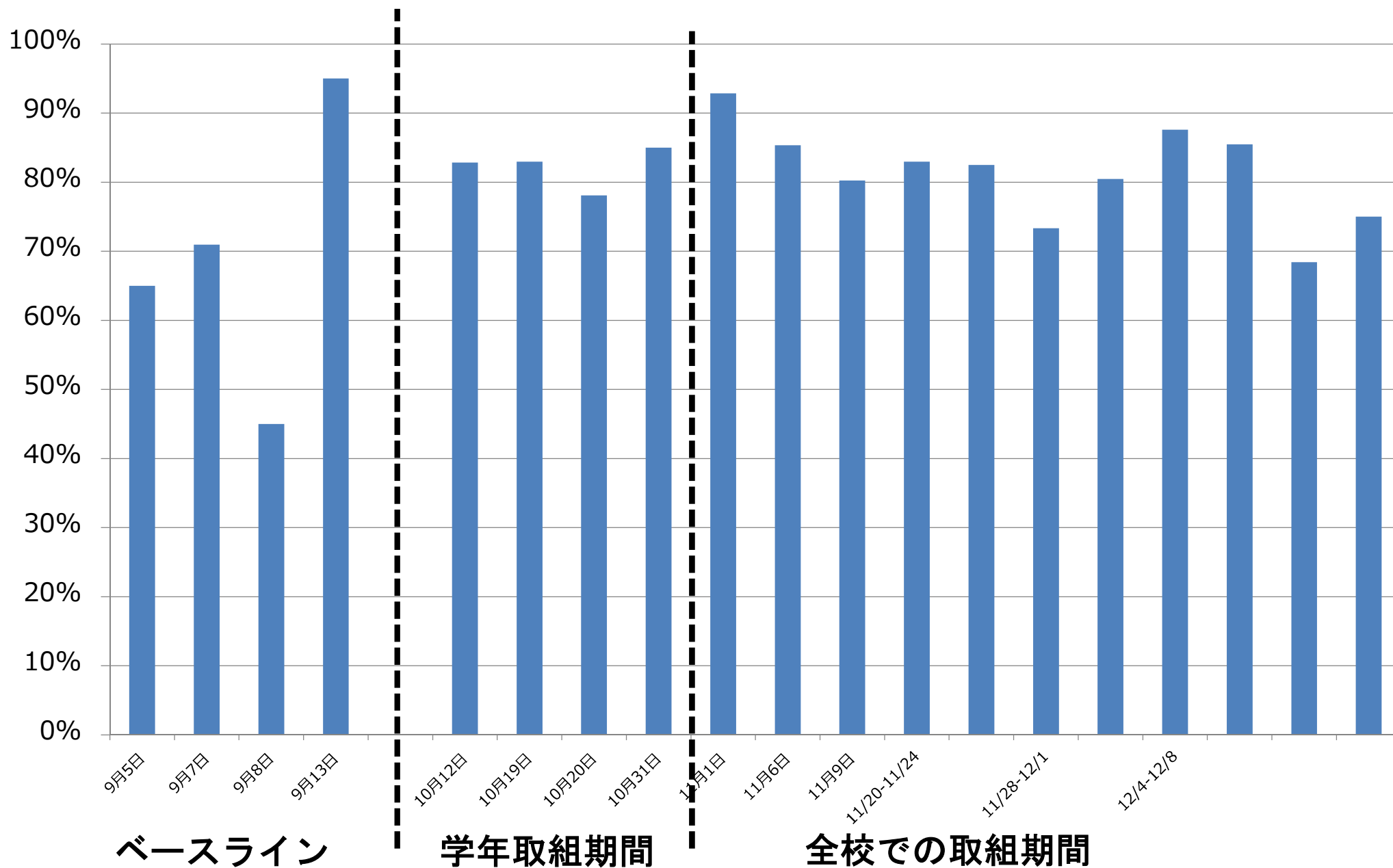
家庭科・総合的な学習の時間で児童に教示  
(そうじの持つ意味を教える＋手本となる意義)

- 自分の分担場所のそうじの仕方を考える。  
(手順やスピードアップの方法)
- 手本となるため(全校展開を考えて), ビデオ撮りを開始する。
- 自分の得意なそうじ方法から, そうじのプロとしての自分の名前を考える。

例: ほうきの貴公子, トイレそうじの神...

# 指導の結果

教員による評価で満点(3点)を取った児童  
出席していた児童数(学年)  $\times 100$



## 指導の成果

「全校の手本としての意識を持つ」ことが刺激になって、6年生がそうじをととても上手にしていると評判になった。



同時にビデオ撮りと全校集会の準備も進めた。

また、他の学年の教員や管理職も積極的に称賛した。

## 全校展開へ(かもっこスマイルプロジェクトの1つとして)



ほかの学年に対してそうじを集中してすることを呼びかけた。

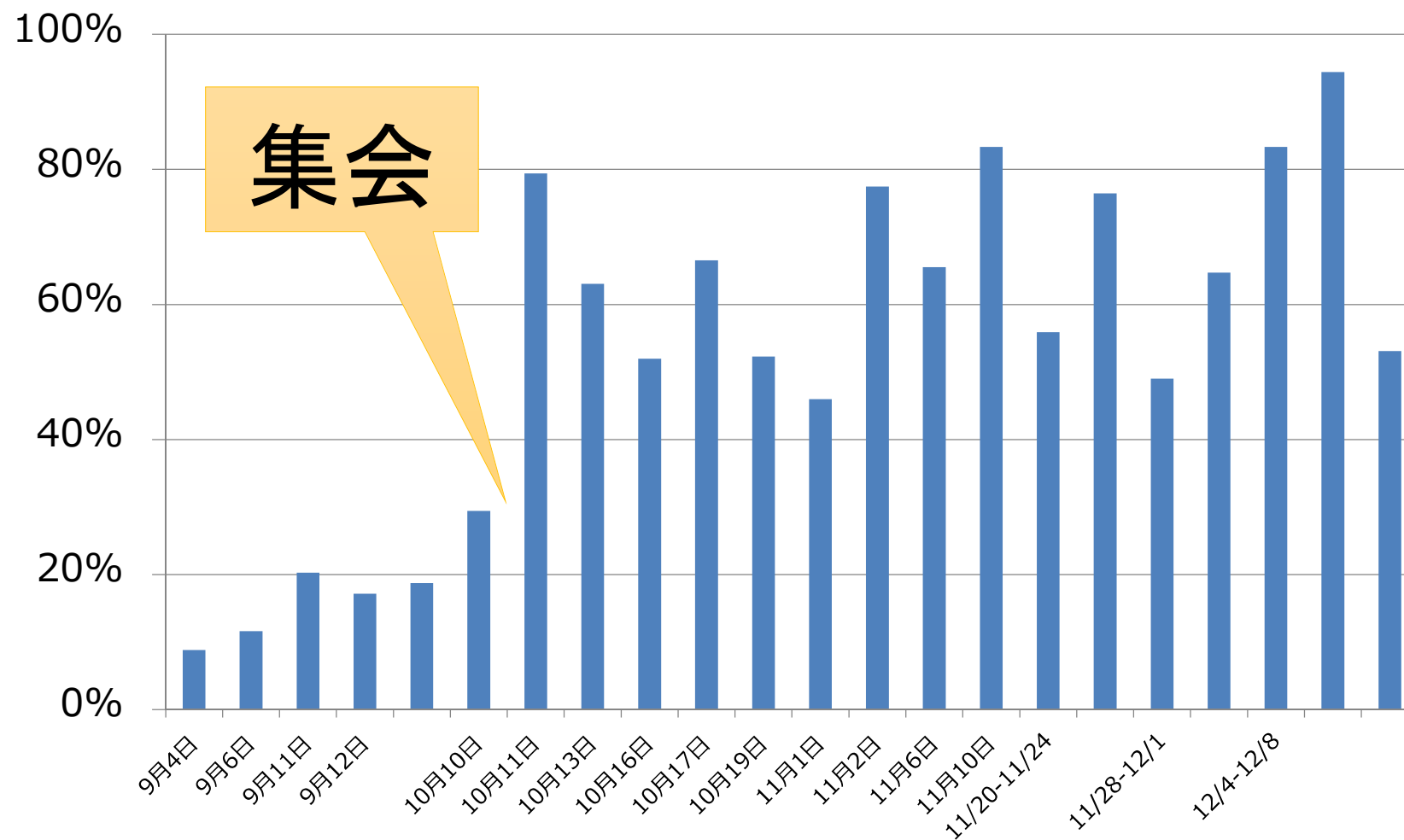
(既存の委員会活動による全校集会を活用した)

下学年の児童から6年生がそうじをしているビデオやエンドロールで流したスライドに対して歓声が上がった。

「6年生はかっこいい！」という声を聞いた6年生たちも誇らしそうにしていた。

## 指導の成果

集会のインパクト効果は絶大で、全校で一気に集中してそうじをする行動が定着した。



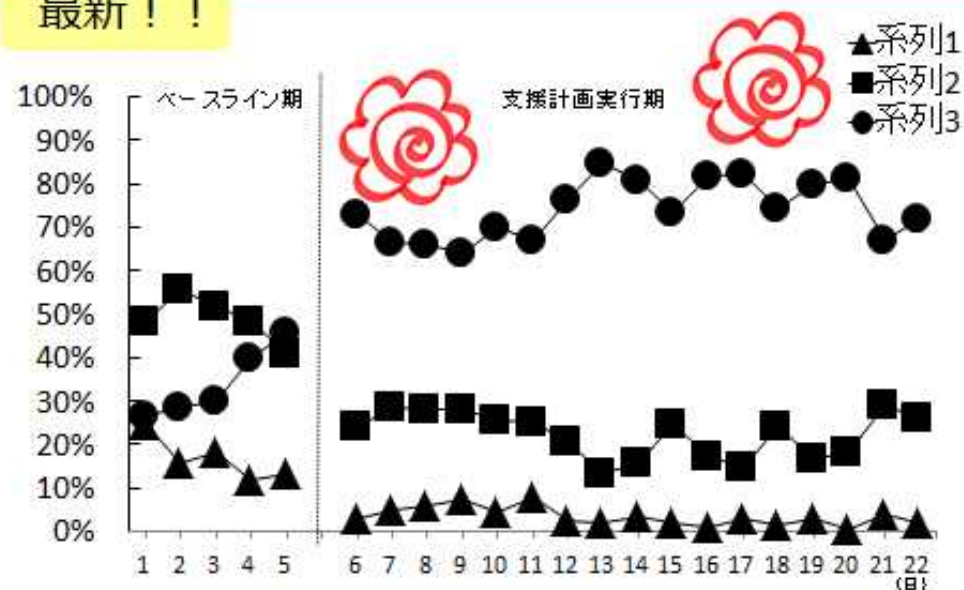
# 般化の様子

その後いくつかの学年で、6年生のおそうじ見学ツアーが組まれた。  
卒業を間近に控えた2月には、5年生へ「伝統」として引きつぎ式も行った。



## 集中してそうじをしている子の割合

最新！！



# ここが成功のポイント



- 学年児童の強みを活かし、児童が主体性を発揮しやすい仕組みを作ったこと。
- 学年ワイドで取り組んだことで最高学年としての自覚形成につながったこと。
- ビデオ上映やそうじのすごさを伝える集会など、集団的有能感を感じられる称賛の仕方を行ったこと。